



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月31日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)廣瀬 俊二 TEL (0774)44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,177	4.7	1,148	7.9	1,165	7.5	821	7.3
29年3月期第3四半期	4,944	△0.2	1,064	8.8	1,084	11.5	765	16.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	53.44	—
29年3月期第3四半期	48.27	—

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	9,032	6,995	77.4
29年3月期	9,108	7,048	77.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 6,995百万円 29年3月期 7,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,750	3.0	1,252	1.8	1,274	3.3	885	1.9	57.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	16,900,691株	29年3月期	16,900,691株
30年3月期3Q	1,593,040株	29年3月期	1,037,634株
30年3月期3Q	15,370,244株	29年3月期3Q	15,864,831株

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

なお、添付資料P. 6「3. 四半期財務諸表 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項(重要な後発事象)」に記載のとおり、当社は平成30年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を予定しておりますが、「3. 平成30年3月期の業績予想」に記載している1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しておりません。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり当期純利益は、52円38銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢、所得環境等の改善を背景に、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、平成29年11月と12月に当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催し、主力のトイレタリーの販売が堅調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収により増加いたしました。引き続き原価管理の見直し等を行っていることから、原価率は前年同四半期と同水準となりました。販売費及び一般管理費につきましては、平成29年11月に新設した「COTA KYOTO スタジオ オフィス」に係る諸費用に加え、本社施設の一部改修に伴う修繕費の増加等により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,177百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は1,148百万円（前年同四半期比7.9%増）、経常利益は1,165百万円（前年同四半期比7.5%増）、四半期純利益は821百万円（前年同四半期比7.3%増）となりました。

なお、当社は美容室向け髪髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	3,511	71.0	3,635	70.2	123	3.5
整髪料	813	16.5	899	17.4	85	10.6
カラー剤	247	5.0	274	5.3	26	10.9
育毛剤	206	4.2	209	4.1	3	1.5
パーマ剤	87	1.7	78	1.5	△8	△9.6
その他	77	1.6	79	1.5	1	2.2
合計	4,944	100.0	5,177	100.0	232	4.7

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間の総資産は、前事業年度から75百万円減少し、9,032百万円となりました。

主な要因としては、現金及び預金が331百万円減少し、受取手形及び売掛金が162百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間の負債は、前事業年度から22百万円減少し、2,037百万円となりました。

主な要因としては、未払金が423百万円減少し、販売奨励引当金が237百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間の純資産は、前事業年度から53百万円減少し、6,995百万円となりました。

主な要因としては、自己株式が615百万円増加し、利益剰余金が561百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、77.4%（前事業年度77.4%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、個人消費の回復が依然として遅れている等、不透明な要素が多く、美容室の経営に直接影響する事態も想定されることから、当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

しかしながら、当社では創業精神である「美容業界の近代化」を基本とし、事業活動を行うことには何ら変わりなく、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」に引き続き注力する考えであります。

業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表いたしました平成30年3月期の通期業績予想を本日（平成30年1月31日）付で修正いたしました。修正の詳細につきましては、同日付で公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,662,697	3,330,821
受取手形及び売掛金	1,330,088	1,493,036
有価証券	—	50,000
商品及び製品	459,069	443,215
仕掛品	10,400	15,003
原材料及び貯蔵品	170,707	185,046
その他	129,912	186,101
貸倒引当金	—	△29
流動資産合計	5,762,876	5,703,194
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,113,346	1,178,922
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	215,744	183,987
有形固定資産合計	2,487,997	2,521,816
無形固定資産	247,610	208,486
投資その他の資産	610,384	599,485
固定資産合計	3,345,992	3,329,788
資産合計	9,108,868	9,032,983
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,188	158,245
未払金	498,107	74,620
未払法人税等	330,000	312,500
賞与引当金	189,926	77,306
役員賞与引当金	—	21,039
販売奨励引当金	45,477	283,172
その他	203,868	311,718
流動負債合計	1,381,567	1,238,602
固定負債		
退職給付引当金	19,337	64,013
役員退職慰労引当金	532,240	563,578
資産除去債務	—	41,517
長期預り保証金	127,028	129,728
固定負債合計	678,605	798,836
負債合計	2,060,173	2,037,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,825	330,853
利益剰余金	7,156,017	7,717,807
自己株式	△826,427	△1,441,663
株主資本合計	7,048,215	6,994,798
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	479	745
評価・換算差額等合計	479	745
純資産合計	7,048,695	6,995,543
負債純資産合計	9,108,868	9,032,983

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,944,867	5,177,152
売上原価	1,290,659	1,352,929
売上総利益	3,654,207	3,824,223
販売費及び一般管理費	2,589,539	2,675,715
営業利益	1,064,668	1,148,507
営業外収益		
受取利息	3,537	2,231
受取配当金	1,707	1,791
受取賃貸料	4,622	4,616
業務受託料	7,200	7,200
その他	4,100	3,692
営業外収益合計	21,167	19,531
営業外費用		
賃貸費用	1,121	1,480
その他	551	763
営業外費用合計	1,672	2,244
経常利益	1,084,163	1,165,795
税引前四半期純利益	1,084,163	1,165,795
法人税、住民税及び事業税	385,345	407,223
法人税等調整額	△66,984	△62,796
法人税等合計	318,361	344,427
四半期純利益	765,802	821,367

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、平成30年1月31日開催の取締役会において、株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して下記のとおり決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の割合及び時期

平成30年4月1日付をもって平成30年3月31日(土曜日)(但し、当日は株主名簿管理人の休業日のため、実質上は平成30年3月30日(金曜日))最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却又は買受けし、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(2) 分割により増加する株式数

平成30年3月31日(土曜日)最終の発行済株式総数に0.1を乗じた株式数といたします。ただし、計算の結果1株未満の端数株式が生じた場合は、これを切捨てることといたします。

株式分割前の当社発行済株式総数	16,900,691株
今回の分割により増加する株式数	1,690,069株
株式分割後の当社発行済株式総数	18,590,760株
株式分割後の発行可能株式総数	56,123,051株

3. 日程

基準日公告日	平成30年3月15日(木曜日)
基準日	平成30年3月31日(土曜日)
効力発生日	平成30年4月1日(日曜日)

4. 当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	43円88銭	48円58銭

- (注) 1 前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益金額は、平成29年4月1日付の株式分割(1:1.1)及び平成30年4月1日付予定の株式分割(1:1.1)が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。